

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	鶴見区保育所等紹介動画作成事業	
事業の実施者	団体等	横浜デジタルアーツ専門学校（以下、YDA）
	行政	横浜市鶴見区こども家庭支援課（以下、鶴見区）
事業の目的	横浜市の子ども・青少年が様々な力を育み、健やかに育つ環境をつくり、促進するということを念頭に、多用化する保育ニーズに対応するための保育園紹介動画を作成する。	
事業の内容	鶴見区内の市立保育所の紹介動画作成	
役割及び責任 分担等	YDA ① 鶴見区との連絡調整 ② 動画の撮影 ③ 動画の編集 ④ 鶴見区と完成品の内容確認及び修正 ⑤ 実施作業内容の記録及び報告書の作成 ⑥ 鶴見区と事業内容の振り返り	
	鶴見区 ① YDA との連絡調整 ② 各保育所との連絡調整 ③ 動画の撮影及び編集の協力 ④ YDA と完成品の内容確認及び修正 ⑤ YDA と事業内容の振り返り ⑥ 交通費及び謝金の支払い	
実施期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日	

記入日	令和5年2月3日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 横浜デジタルアーツ専門学校 ・記入責任者 氏名： 指澤祐二 連絡先： 045-474-5911(代)
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 横浜市鶴見区こども家庭支援課 ・記入責任者 氏名： 二階堂 亮 連絡先： 045-510-1797

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。		
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。		

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。		

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・事業の目的、役割分担、計画について相互に話し合いながら共有することができました。目的の共有の過程で学生が保育園や保護者の保活ニーズについて学習を深めたことで、よりよい動画作成につながりました。(鶴見区)
- ・保育園の見学に来られない親御さん向けに、「保育園の紹介動画を制作する」という大きな目標をしっかりと共有することができた。(学生)
- ・動画公開後の展開を考慮して、さまざまな媒体の活用や、方法について話し合うことができた。(学生)
- ・一年間を通したスケジュールは、大まかではあるが、事前に確認し合うことができた。(学生)
- ・プランの提示に手間取り、最終的なビジョンの共有が曖昧なまま作業が経過していく場面があり、ご心配をおかけしました。(教員)

【今後改善が必要と思われること】

- ・お互いの役割分担はしっかりできていたが、生徒内ではそんなに出来ていなかった。(学生)
- ・最終的なビジョンの提示(絵コンテなど)を重ねて、撮影素材のクオリティを上げていきたい。(学生)

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・当初の予定にはなかった動画を案内・広報するチラシの作成等についても積極的に提案・対応していただくなど、想定を上回る対応をしていただきました。(鶴見区)
- ・ミーティング毎に、お互い率直な意見交換ができた。(学生)
- ・お互いの役割を把握し、スケジュールを把握しながら進めることができた。(学生)
- ・強みや長所、+αで出来る事をお互いに伝え合い、全体の活動ができた。(学生)
- ・想像ができないなりに「まずやってみよう」という姿勢で取り組ませていただき、再撮影の機会を調整していただき、改めて感謝申し上げます。(教員)

【今後改善が必要と思われること】

- ・学生は授業の一環として対応いただく形のため、メールでのやりとりが主でしたが、動画の最終確認の過程等において、若干の行き違いが生じたことがありました。最後の段階でオンライン会議システムを活用することでスムーズなやり取りを行うことができたため、今後は連絡手段を双方の状況に応じて柔軟に使い分けることでスムーズな調整が可能になると考えられます。(鶴見区)
- ・事業終了後の見直しについては話し合っていたが、動画の撮影や編集のスケジュール管理が疎かになり、お互いに決めていた期限に間に合わなかった事があった。(学生)
- ・お互いの役割はしっかり把握する事ができたが、スムーズに進めることが出来なかった場面が多々あり、

仕事に偏りが生じてしまった。(学生)

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・学生が目線で各保育園の特徴を上手に引き出し、各園それぞれの個性・違いがわかる動画となっており、当初の期待以上に各園の特徴が伝わる動画となりました。また、広報用のチラシの作成を提案いただくなど、当初の計画になかったことにも積極的に取り組んでいただくなど、想定以上の大きな成果を得ることができました。(鶴見区)
- ・学生だけでは成り立たなかった事が多く、子ども家庭支援課のお二人のご協力があったので、プロジェクトの成功に繋がった。(学生)
- ・受益者の生の声はまだ聞いてはいないが、報告会という場を設けていただいたので、その場で、今回の製作物の評価や感想を頂けた。(学生)
- ・お互いの考えや意見についても、しっかり話し合う事ができた。(学生)
- ・無事に四園の動画が完成し、目標が達成できた。(学生)
- ・コロナ禍における社会問題に対しリアルタイムで関わらせていただきました。学生が通常授業・日常では得られない社会環境に身を投じ、行政の皆さまとともに考え、答えをカタチにすることができました。さらに企画で終わることなく事業完遂に導いていただいたことは、関わった学生にとって動画制作という成果以上に大きな経験・財産となりました。感謝申し上げます(教員)

自由記入欄

- ・至らないところが多々あり、たくさんのご迷惑をおかけしました。クライアント様のお二人が優しくご指導してくださったので、いい経験となり成長に繋がりました。(YDA)